項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数/行 ※1	文字フォント	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	基本フォントサイズ（ポイント） ※2	指定都市実装区分	一般市区町村実装区分	適合基準日
13	就学援助費認定通知書、就学援助費認定通知書（平仮名表記）、就学援助費（新入学児童生徒学用品費等）認定通知書、就学援助費（新入学児童生徒学用品費等）認定通知書（平仮名表記）	認定期間	自治体ごとに項目の表示/非表示を選択可能とする ※「新入学児童生徒学用品費」通知の場合には非表示とする	1	無	日付型	25	IPAmj明朝	和暦	左	ー	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
14		認定理由	マスター設定により、自治体ごとに文言は変更可能とする	1	無	全角	43	IPAmj明朝	ー	左	ー	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
15		支給方法	支給方法を記載 マスター設定により、自治体ごとに文言は変更可能とする 自治体ごとに項目の表示/非表示を選択可能とする	1	無	全角	5	IPAmj明朝	ー	左	ー	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
16		口座情報	金融機関名、支店名、口座種別、口座番号、口座名義人を記載 自治体ごとに印字項目単位での表示/非表示またはマスキングを選択可能とする ※学校支払のみや充当等により保護者支払額が無い場合、口座情報は表示しない	3	無	全角/半角	30/3	IPAmj明朝	ー	左	○	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
17		支給対象費目及び支給予定額	支給対象費目、学年、認定区分、費目別支給予定額、支給予定額（合計）を記載 マスター設定により、自治体ごとに文言は変更可能とする 自治体ごとに項目の表示/非表示を選択可能とする ※「新入学児童生徒学用品費」通知の場合には該当費目のみ記載 ※費目別支給予定額は児童情報の学校・学年情報より計算した額を記載し、支給対象となる費目のみ表示する ※支給予定額（合計）は支給額の決まっている項目のみの合計とし、不要の場合は削除可能とする ※実費表記の場合、備考欄にその旨を記載する想定 ※アスタリスク(*)のついた項目は実費支給のため、上限額を示す。上限額がない場合などは「実費」や「現物」などと表記する。	ー	無	全角/半角	ー	IPAmj明朝	ー	左	ー	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
18		備考	自治体ごとに任意の文言を設定する	1	有	全角	50/8	IPAmj明朝	ー	左	ー	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
19		連絡先	機関名・郵便番号・住所・電話番号・メールアドレスを記載 マスター設定により、自治体ごとに文言は変更可能とする なお、非表示とした印字項目は項目名ごと非表示とする 指定都市の実装においては、個人単位で出力する場合、任意の文言または児童生徒の学校情報を選択可能	1	無	全角/半角	20/5	IPAmj明朝	ー	左	ー	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

※1：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。
※2：プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近いフォントサイズであれば可とする。

2．構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上） ※3	最低余白（下） ※3	最低余白（左） ※3	最低余白（右） ※3	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	処分庁名（通知者名）	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	就学援助費認定通知書、就学援助費認定通知書（平仮名表記）、就学援助費（新入学児童生徒学用品費等）認定通知書、就学援助費（新入学児童生徒学用品費等）認定通知書（平仮名表記）	A4	縦	11	5	13	5	5	ー	有	有	有	有	無	就学世帯（学校別）／個人（児童生徒）	規定しない	無	ー

※3：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「ー」を記入する。